

ディボーション質問表



今週の箇所は、エリサレムでの活動（11：1～13：37）です。更に分類するとエリサレムでの教えと論争（11：27～12章）、終末についての教え（13章）に分けられます。

9日（月）マルコの福音書 12：1～12節

1. 1～12節のたとえを、イエス様は誰に向けて話しているのでしょうか？ 何故彼らに対してこのようなたとえを話されたと思いますか？
2. 農夫たちの犯した罪は何だったと思いますか？ その罪によって見えなくなってしまったことは何でしょうか（1～12節）？

10日（火）マルコの福音書 12：13～27節

1. 13節でパリサイ人とヘロデ党の者が一緒にイエス様の所に来ています。彼らは普段はどのような関係にあったと思いますか？ 彼らはどのような目的をもっていたのでしょうか？ 彼らの目的を果たす為に、何故この質問をしたと思いますか？
2. 税金、献金に関してイエス様はどのような教えをされたのでしょうか（13～17節）？ その原則を自分の生活にどのように適用することが出来るか考えてみましょう。
3. イエス様はサドカイ人に「思い違いをしている」と言っています。彼らはどんな思い違いをしていたのでしょうか？ また彼らの質問の動機はどのようなものだったのでしょうか（18～27節）？

11日（水）マルコの福音書 12：28～44節

1. この箇所が一番大切な戒めは何だと言われていますか？ その戒めは何よりもずっとすぐれているのでしょうか（28～34節）？
2. 38～44節に登場する人々はどのような人々でしょうか？ イエス様はなぜ貧しいやもめのしたことをこれ程までに喜ばれたと思いますか？ やもめと金持ち、律法学者たちの違いは何だと思えますか（41～44節）？

12日（木）マルコの福音書 13：1～13節

1. 13章は、2節でイエス様が語られた事が理解出来なかった弟子の質問（4節）に対して答えられた内容です。弟子たちの質問は2つに分けられます。それらは何でしょうか？
2. 5～14節に、前兆（4節）が5つ書かれています。それらを書き出してみましょう。
3. イエス様は困難と惑わしの時代のただ中で、何に目を向けるべきだと教えていますか（1～8節）？ 迫害の中で達成される目的は何だと語っていますか（9～13節）？

13日（金）マルコの福音書 13：14～27節

1. 20節にある「選びの民」とは、ユダヤ人の事です。そのように理解すると、14～23節のイエス様の教えは、何を意味しているのでしょうか？
2. 24～27節には、キリスト再臨に伴うしるしが書かれています。それはどのような事でしょうか？
3. 『荒らす憎むべきもの』が、自分が立ってはならないところに立っている」という言葉は、AD70年、エルサレム神殿がローマ軍によって踏みつけられ、そこに偶像の祭壇が建てられることを預言されたのです。『荒らす憎むべきもの』は、ダニエル9：27にも言及され、BC168年に自分を神の現れだと言ったシリアの王安ディオコス・エピファネスがエルサレム神殿にゼウス神の祭壇を建て、ユダヤ人たちの嫌悪する豚の血をまくなど、神殿を冒瀆した事件を指します。終末には神の名と聖さが汚され、偶像崇拜が絶えず、神の民への迫害が厳しくなることを表しています（14～20節）。

14日（土）マルコの福音書 12：28～37節

1. いちじくの木のとえ（28～31節）で、イエス様は弟子たちに何を知って欲しいと思って語っているのでしょうか？
2. イエス様は、33～37節で繰り返し「目をさましていなさい」と語っています。何故目をさましているように言われているのでしょうか？